

剣道を通じて感じたこと、学んだこと。

東京都  
東京至誠館  
中学2年 須藤 紗良

今から六年前、私が小学三年生の時に母から勧められました。そして、体験をやらせてもらったとき稽古の後に達成感を感じ、また、防具を着けて稽古をしている先輩方に魅力を感じたのがきっかけで今剣道が続いています。

剣道を通して礼儀を教わり、初めて会う方々や先輩方にも挨拶が出来るようになるなどの礼儀を身につけることができました。また、チームワークの大切さを知ることができました。

「剣道は一人では出来ない。スコアを考え、チームに貢献しないといけない。」と、先生によく言われました。でも、初めていわれた時、あまり理解する事ができていませんでしたが、ある大会でスコアを考えずに試合をしてチームが負けてしまった時に、初めてチームワークというものを覚えました。

剣道が続け四年、中学に入って部活との両立も迷いましたが、私は道場での稽古に専念する事にして、部活に入らないことに決めました。

そして中学生としての道場での稽古が始まると「中学生になったなら先生に言われてからやるのではなく、自分で考えて行動できるようにするよ。」

と、教わりました。その言葉を教わってから、先生方に指導してもらったことを優先に自分で工夫しながら稽古をすることを心掛けるようになりました。

また、昔は思ったようにいなくて、行きたくない、辞めたいと思ったこともありました。共に稽古をして、励ましてくれている仲間がいるから稽古に行くこともありました。

しかし、中学に入ってから中体連での試合も入り、もっと勝てみたいという気持ちが小学生の時よりも強くなりました。そして強くなりたいという思いがあるため、稽古でうまくいかないことがあっても前向きに考えるようにしています。

また、下級生を通して気付かされたこともありました。二年生に進級し、下級生の面倒を見るようになり、自分の言ったことに対して返事をされなかったことがありました。そして自分でも気が付かないうちに返事をしていない時があるかもしれない、気を付けないと、と思いました。

また、勉強も言われたとおり素直にやればやるほど成績が上がるのと一緒に、剣道も素直に練習することで強くなるということを言われてから、素直に聞き入れるようにしています。

剣道を通じて先生方や先輩方に色々なことを学ばせてもらっています。そして支えてくれている仲間、家族に感謝しています。

高校に進学したら、学んだことを活かし、意識しながら剣道が続けていきたいと思っています。